

教育研究評議会（第5回）議事要旨

日時 平成22年9月8日（水） 9時30分～11時10分
17時10分～17時15分

場所 事務局中会議室，総合研究棟特別会議室

出席者 別紙のとおり

議事 審議に先立ち，8月1日付け発令の富永良喜学校教育学専攻長及び渡辺裕人教育研究支援部長の紹介が行われた。
続いて，宮崎監事が出席されている旨の報告が行われた後，前回（第4回）教育研究評議会の議事要旨（案）の確認が行われ，原案のとおり了承された。

1 審議事項

(1) 平成23年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験〔後期選抜〕の学生募集人員について
福本副学長から，配付資料2に基づき教授会に附議することの説明が行われ，原案のとおり了承された。

(2) 秋季入学に係る学生募集要項について
福本副学長から，配付資料3に基づき教授会に附議することの説明が行われ，原案のとおり了承された。

(3) 学則等の一部改正について
入試課長から，配付資料4-1～-2に基づき説明が行われ，原案のとおり了承された。

(4) 教員の選考について
次の教員の選考が了承された。
非常勤講師
平成22年度 大学院：新規1件1名
学部：新規1件1名

専任教員【教授会終了後審議】
同日開催の研究科・学部教授会で意見の取りまとめが行われた教員の選考が了承された。

(5) 教員の選考開始について
学長から，割愛依頼を学長が承諾したことの報告が行われた。

専任教員
学長から，配付資料6に基づき，教員選考を開始すること及び教員選考委員会に教員選考を付託することについて説明が行われ，了承された。

また，平成21年11月11日開催の教育研究評議会において了承された教員選考開始について，教員選考委員会において教員選考を行っていたところ，応募者を全員不適格と判定したため，公募条件を一部変更のうえ，教員選考を継続したことの報告が行われた。

(6) 学長選考会議委員の選出について
学長から，配付資料7に基づき，4月5日開催の教育研究評議会で選出した学長選考会議委員のうち，安部崇慶前学校教育学専攻長が7月31日付けで専攻長を辞任したため，新たに1人の委員を選出することの説明が行われ，該当する評議員の互選により 河相善雄 特別支援教育学専攻長が選出された。

(7) 大学院学校教育研究科改組後の専攻・コース等の英文表記について
福本副学長から，配付資料8に基づき説明が行われ，原案のとおり了承された。

- (8) 受託研究の受入れについて
研究支援課長から，配付資料 9 に基づき説明が行われ，原案のとおり了承された。

2 報告事項

- (1) 平成 2 3 年度入試大学院学校教育研究科学生確保策について
福田副学長から，配付資料10に基づき，後期入試に向けた学生確保策について説明が行われた。
続いて，学長から，各専攻・コースにおける積極的な学生確保への取組について依頼が行われた。
- (2) 大学院学校教育研究科説明会（第 1 0 回）について
福田副学長から，配付資料11に基づき報告が行われた。
- (3) 平成 2 2 年度「FD による授業公開」の実施について
福本副学長から，配付資料12に基づき報告が行われ，積極的な参加について依頼が行われた。
- (4) 科学研究費補助金説明会の実施について
福本副学長から，配付資料13に基づき報告が行われた。
- (5) 第 1 0 回（平成 2 2 年度）学生生活実態調査の実施について
福本副学長から，配付資料14に基づき報告が行われ，調査票の配付及び回収について協力依頼が行われた。
- (6) 大学祭（嬉望祭）における教職員協賛金の拠出について
学長から，配付資料15に基づき協賛金を募ることの説明が行われ，協力依頼が行われた。
- (7) 連合学校教育学研究科に係る諸報告について
原田研究科長から，配付資料16-1～-2に基づき報告が行われた。
- (8) その他
事務局長から，配付資料17に基づき，平成 2 3 年度国立大学法人等施設整備の事業評価結果について報告が行われた。

横川附属幼稚園長から，附属幼稚園創立 3 0 周年記念式典を 9 月 2 6 日（日）に開催することの報告が行われた。

学長から，教員人事について次の説明が行われた。

ア．先日実施した学系長・専攻長ヒアリングを受けて，現在役員会で補充人事等について検討中であり，検討結果については次回 1 0 月の教育研究評議会で報告を行うこと。

イ．昇任人事の審査基準についても検討中であり，次回の教育研究評議会に附議する予定であること。

宮崎監事から，次の発言があった。

ア．施設整備の事業評価結果が S 判定であったことは喜ばしい。今後は，老朽化の目立つ附属学校園の施設整備についても配慮願いたい。

イ．これまで，大学祭に数回参加したが，大学の規模に見合った盛況ぶりであった。今後も，学生・教職員共に協力しながら盛り立てていてもらいたい。

ウ．連合大学院の教育実践学フォーラムに何度か出席したが，非常に素晴らしい講師を迎え，最先端のテーマを取り上げている。なお，本学教員も講師になることにより，本学の研究成果がどのように教育界に貢献しているかを学外に P R することが期待できるのではないか。

- 以 上 -